

Title	ジェンダーの変容
Sub Title	Rethinking gender
Author	加藤, 有佳織(Kato, Yukari)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2023
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2022.)
JaLC DOI	
Abstract	<p>春学期・秋学期、火曜2時限に三田キャンパスにおいて下記講義を実施した（*はオンデマンド形式）。</p> <p>【春学期】 4月12日 ガイダンス 4月19日 宇沢美子（文学部，コーディネーター）「カウボーイが再生するアメリカ？」 4月26日 川畑秀明（文学部，コーディネーター）「『測る』ことで考えるジェンダー」 5月10日 加藤有佳織（文学部，コーディネーター）「カナダの女性運動と女性文学」 5月17日 辻秀雄（文学部）「アーネスト・ヘミングウェイの文学、特に文体を通じてみるジェンダー/セクシュアリティ」* 5月24日 中村香住（大学院社会学研究科 非常勤講師）「メイドカフェとポストフェミニズム」 5月31日 ディスカッション（コーディネーター）対面 6月7日 山梨あや（文学部）「日本における教育とジェンダーの変容—教育史の視点から考える—」* 6月14日 ディスカッション 6月21日 石川大智（理工学部）「唯美主義とジェンダー/セクシュアリティ：19世紀後半のイギリス文人ネットワークの諸相」* 6月28日 岩波敦子（理工学部）「女性を語る—女性が語る 歴史の中の女性たち」* 7月5日 藤高和輝（京都産業大学）「〈トランス〉の哲学」* 7月12日 ディスカッション</p> <p>【秋学期】 10月4日 ガイダンス 10月11日 岡原正幸（コーディネーター）「ジェンダーバイアスはアンコンシャスか？」 10月18日 武田砂鉄（ライター）「武田砂鉄さんとジェンダーについて語ろう」 10月25日 ディスカッション 11月1日 北川千香子（慶應義塾大学商学部）「ヒロインたちの犠牲と復権—ワグナーのオペラにおけるジェンダーの揺らぎ—」* 11月8日 海老原豊（SF評論家）「science fiction表象にみるジェンダー/セクシュアリティの変容」 11月15日 若澤佑典（慶應義塾大学文学部）「疾駆する知、賑やかな学：ネットワークの文芸学へ」 11月29日 佐久間亜紀（慶應義塾大学教職課程センター）「ジェンダーと教育と私 - 教職史の日米比較から」 12月6日 竹田恵子（東京女子大学）「パフォーマンス・アート《S/N》におけるアイデンティティ、コミュニティ」 12月13日 大和田俊之（慶應義塾大学法学部）「ヒップホップにおける女性の声—その力と詩学」 12月20日 伊藤真紀（法政大学）「スポーツにおける多様性」 12月27日 相馬千秋（演劇プロデューサー）「『世界』を複数化する——テアターデアヴェルト2023のキュレーションを例に」 1月17日 ディスカッション</p> <p>We invited fifteen guests and put on a series of lectures on various topics regarding gender. Some lectures were delivered online. We also had time for students to discuss and deepen their thoughts.</p> <p>[SPRING] 12 April: Introduction 19 April: Lecture #1 (Yoshiko UZAWA, Keio University) 26 April: Lecture #2 (Hideaki KAWABATA, Keio University) 10 May: Lecture #3 (Yukari KATO, Keio University)</p>

	17 May: Lecture #4 (Hideo Tsuji, Keio University), online 24 May: Lecture #5 (Kasumi NAKAMURA, Keio University) 31 May: Discussion #1 7 June: Lecture #6 (Aya YAMANASHI, Keio University), online 14 June: Discussion #2 21 June: Lecture #7 (Daichi ISHIKAWA, Keio University), online 28 June: Lecture #8 (Atsuko IWANAMI, Keio University), online 5 July: Lecture #9 (Kazuki FUJITAKA, Kyoto Sangyo University), online 12 July: Discussion #3 [FALL] 4 October: Introduction 11 October: Lecture #1 (Masayuki OKAHARA, Keio University) 18 October: Talk #1 (Satetsu TAKEDA, writer) 25 October: Discussion #1 1 November: Lecture #2 (Chikako KITAGAWA, Keio University), online 8 November: Lecture #3 (Yutaka EBIHARA, SF critic) 15 November: Lecture #4 (Yusuke WAKAZAWA, Keio University) 29 November: Lecture #5 (Aki SAKUMA, Keio University) 6 December: Lecture #6 (Keiko TAKEDA, Tokyo Women's Christian University) 13 December: Lecture #7 (Toshiyuki OHWADA, Keio University) 20 December: Lecture #8 (Maki Ito, Hosei University) 24 December: Lecture #9 (Chiaki SOMA, producer) 17 January: Discussion #2
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2022000011-20220052

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	文学部	職名	准教授	補助額	603	千円
	氏名	加藤 有佳織	氏名（英語）	Yukari KATO			

研究課題（日本語）

ジェンダーの変容

研究課題（英訳）

Rethinking Gender

研究組織

氏名 Name	所属・学科・職名 Affiliation, department, and position
加藤有佳織 (Yukari KATO)	文学部
川畑秀明 (Hideaki KAWABATA)	文学部
岡原正幸 (Masayuki OKAHARA)	文学部
宇沢美子 (Yoshiko UZAWA)	文学部
桑川麻里生 (Mario KUMEKAWA)	文学部
佐川徹 (Toru SAGAWA)	文学部

1. 研究成果実績の概要

春学期・秋学期、火曜2時限に三田キャンパスにおいて下記講義を実施した（*はオンデマンド形式）。

【春学期】

4月12日 ガイダンス
 4月19日 宇沢美子(文学部, コーディネーター)「カウボーイが再生するアメリカ？」
 4月26日 川畑秀明(文学部, コーディネーター)「『測る』ことで考えるジェンダー」
 5月10日 加藤有佳織(文学部, コーディネーター)「カナダの女性運動と女性文学」
 5月17日 辻秀雄(文学部)「アーネスト・ヘミングウェイの文学、特に文体を通じてみるジェンダー／セクシュアリティ」*
 5月24日 中村香住(大学院社会学研究科 非常勤講師)「メイドカフェとポストフェミニズム」
 5月31日 ディスカッション(コーディネーター)対面
 6月7日 山梨あや(文学部)「日本における教育とジェンダーの変容—教育史の視点から考える—」*
 6月14日 ディスカッション
 6月21日 石川大智(理工学部)「唯美主義とジェンダー／セクシュアリティ: 19世紀後半のイギリス文人ネットワークの諸相」*
 6月28日 岩波敦子(理工学部)「女性を語る—女性が語る 歴史の中の女性たち」*
 7月5日 藤高和輝(京都産業大学)「〈トランス〉の哲学」*
 7月12日 ディスカッション

【秋学期】

10月4日 ガイダンス
 10月11日 岡原正幸(コーディネーター)「ジェンダーバイアスはアンコンシャスか？」
 10月18日 武田砂鉄(ライター)「武田砂鉄さんとジェンダーについて語ろう」
 10月25日 ディスカッション
 11月1日 北川千香子(慶應義塾大学商学部)「ヒロインたちの犠牲と復権—ワーグナーのオペラにおけるジェンダーの揺らぎ—」*
 11月8日 海老原豊(SF評論家)「science fiction 表象にみるジェンダー／セクシュアリティの変容」
 11月15日 若澤佑典(慶應義塾大学文学部)「疾駆する知、賑やかな学: ネットワークの文芸学へ」
 11月29日 佐久間亜紀(慶應義塾大学教職課程センター)「ジェンダーと教育と私—教職史の日米比較から」
 12月6日 竹田恵子(東京女子大学)「パフォーマンス・アート《S/N》におけるアイデンティティ、コミュニティ」
 12月13日 大和田俊之(慶應義塾大学法学部)「ヒップホップにおける女性の声—その力と詩学」
 12月20日 伊藤真紀(法政大学)「スポーツにおける多様性」
 12月27日 相馬千秋(演劇プロデューサー)「『世界』を複数化する—テアターデアヴェルト 2023 のキュレーションを例に」
 1月17日 ディスカッション

2. 研究成果実績の概要（英訳）

We invited fifteen guests and put on a series of lectures on various topics regarding gender. Some lectures were delivered online. We also had time for students to discuss and deepen their thoughts.

[SPRING]

12 April: Introduction
 19 April: Lecture #1 (Yoshiko UZAWA, Keio University)
 26 April: Lecture #2 (Hideaki KAWABATA, Keio University)
 10 May: Lecture #3 (Yukari KATO, Keio University)
 17 May: Lecture #4 (Hideo Tsuji, Keio University), online
 24 May: Lecture #5 (Kasumi NAKAMURA, Keio University)
 31 May: Discussion #1
 7 June: Lecture #6 (Aya YAMANASHI, Keio University), online
 14 June: Discussion #2

21 June: Lecture #7 (Daichi ISHIKAWA, Keio University), online
 28 June: Lecture #8 (Atsuko IWANAMI, Keio University), online
 5 July: Lecture #9 (Kazuki FUJITAKA, Kyoto Sangyo University), online
 12 July: Discussion #3

[FALL]

4 October: Introduction
 11 October: Lecture #1 (Masayuki OKAHARA, Keio University)
 18 October: Talk #1 (Satetsu TAKEDA, writer)
 25 October: Discussion #1
 1 November: Lecture #2 (Chikako KITAGAWA, Keio University), online
 8 November: Lecture #3 (Yutaka EBIHARA, SF critic)
 15 November: Lecture #4 (Yusuke WAKAZAWA, Keio University)
 29 November: Lecture #5 (Aki SAKUMA, Keio University)
 6 December: Lecture #6 (Keiko TAKEDA, Tokyo Women's Christian University)
 13 December: Lecture #7 (Toshiyuki OHWADA, Keio University)
 20 December: Lecture #8 (Maki Ito, Hosei University)
 24 December: Lecture #9 (Chiaki SOMA, producer)
 17 January: Discussion #2

3. 本研究課題に関する発表

発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)
Masayuki Okahara	Don't Be Afraid to Be Performative! Doing Performative Social Science at Keio University in Tokyo, Japan	Doing Performative Social Science Creativity in Doing Research Communities (Routledge)	2022
Masayuki Okahara, Alena Prusakova	Arts-Based Research in Sociology: Undergraduate and Graduate Degree Education	Arts-Based Methods in Education Research in Japan (Brill)	2022
宇沢美子, 和泉雅人(共訳)	『迷宮と迷路の文化史』	東京堂出版	2022年
宇沢美子	「装飾とジェンダーから考えるフィーマール・ゴシック」Spofford, Wynne, Gillman	『ポー研究』第14号: pp.37-51	2022年
加藤有佳織(訳)	「わるい娘たちは閉じ込めてしましましょう」	『文藝』第61巻第4号: pp.256-71	2022年11月1日
加藤有佳織	「忘れられた戦争」を描く——朝鮮戦争と現代アメリカ小説」	日本英文学会関東支部第21回大会《シンポジウム2》「現代アメリカと文学と戦争」	2022年6月18日
Kawabata, H, Zhou, Y.	You and your cats appear more attractive in a crowd of cats: The cheerleader effect in human/animal facial attractiveness	Current Psychology, Published online (doi.org/10.1007/s12144-022-03984-1)	2022
川畑秀明, 稲庭彩和子, 駒米愛子	対話を用いた美術鑑賞がウェルビーイングや感情に与える効果の予備的研究—対話鑑賞がもたらす効用測定のプロトコル化を目指して	第18回日本感性工学会春季大会	2023年3月7日